



## ラジオNIKKEI第2の音楽番組で 発覚したリスナー投票操作について

リスナーの皆様のネット投票で流す曲を決めるラジオ NIKKEI 第 2(RN2)の音楽番組で、投票結果を担当ディレクターが意図的に操作していたことが分かりました。リスナーの皆様の期待・信頼を裏切る行為で、リスナーの皆様にお詫び致します。番組は打ち切りました。

投票操作が発覚したのは平日の正午から生放送している 1 時間番組「Click DE On-Air」のうち、主に月曜と金曜の放送です。この番組はあらかじめ番組サイトに掲示した計 30 曲の中からリスナーの皆様に聴きたい曲をインターネット経由でクリックしてもらい、投票の多かった 12～13 曲を優先的に流す番組です。ところが 3 人いる担当ディレクターのうち、月曜と金曜を担当する番組ディレクターが、連打アプリという多数連続してクリックしたことになるアプリケーションを使って一部の楽曲への投票を水増しし、流す曲を操作していたことが判明しました。

8 月 24 日(金)の放送で連打アプリを使った結果、アクセスが集中して番組用のパソコンからサーバに接続できなくなり、技術担当者が調べたことで、今回の操作が見つかりました。

このディレクターは委託先の番組制作会社の者で、調査の結果、約 1 年半にわたり、2 回に 1 回程度の割合で連打アプリを使っていたことが分かりました。一部リスナーの連打アプリによる特定の楽曲へのリクエスト数の集中に対応するため、自らも連打アプリを使用することで数字のつじつま合わせをしたかったと説明しています。すべて独断で行っており、他の曜日の担当ディレクター 2 人に不正はなく、不正を以前から知っていた関係者はいませんでした。

ラジオ NIKKEI としては社員、外部ディレクターら、番組に関わるすべての者にメディアにかかわる一員としての自覚を求めるとともに、一段とコンプライアンスを強化し、研修や教育を徹底します。各番組におけるチェック体制も強化します。申し訳ありませんでした。